

戦後の教育学を学ぶうえで、不可欠な教育学論集の集大成！！

《巻構成と主な内容》

第1巻：「日本ファシズム教育政策史」

序章：教育におけるナショナルなもの

- 第1章：大正デモクラシーと教育政策の展開
- 第2章：国家と「思想」危機
- 第3章：社会・教育構造のファシヨ化過程
- 第4章：天皇制ファシズム教育を支える社会的基盤（その一）
- 第5章：天皇制ファシズム教育を支える社会的基盤（その二）
- 第6章：教育における軍部支配の系列

第2巻：「天皇制国家の教育政策」

序章：天皇制と教育と枢密院

- 第1章：明治後半の教育政策と枢密院
- 第2章：天皇制教育の再編成と枢密院
- 第3章：治安維持法と教育政策
- 第4章：植民地教育政策と枢密院

第3巻：「対日占領政策と戦後教育改革」

- 第1章：占領以前におけるアメリカの対日教育政策の形成
- 第2章：占領以後のアメリカおよび連合国の対日教育政策の形成
- 第3章：占領軍と初期教育政策の展開
- 第4章：占領軍の教育勅語への対応
- 第5章：アメリカ対日教育使節団の編成過程とその活動／CIEと教育改革の展開

第4巻：「占領と神話教育」

- 第1章：占領軍と教科書指令（修身・日本歴史及び地理停止）
- 第2章：「中等学校・青年学校公民教師用書」とCIEの修正指示
- 第3章：暫定国史教科書の作成と占領軍の方針
- 第4章：記・紀神話の暫定国史教科書草稿と占領軍の修正
- 第5章：「くにのあゆみ」の成立過程

第5巻：「日本ファシズムと教育史」

- 第1章：資本主義の教育政策
- 第2章：戦前日本教育政策の基本構造について
- 第3章：政治は教育にどう関係してきたかー日本政治権力が教育に期待したものー
- 第4章：ファシズム教育政策の展開過程
- 第5章：日本ファシズムの進行と教育
- 第6章：ファシズム教育を支える社会的基盤
- 第7章：自由主義教育運動に参加した人たち
- 第8章：大正期の教育改革ーとくに臨時教育会議を中心としてー
- 第9章：壮丁検査と学力
- 第10章：天皇制と教育
- 第11章：大正期における教育勅語ーその内外における位相ー
- 第12章：国民学校教育における矛盾の諸相
- 第13章：国民学校下における自由教育の変質過程

第6巻：「戦後教育の課題と歴史」

《第1部：教育科学と教育政策》

- 第1章：今日の教育科学は何をめざすか
- 第2章：教育政策研究の課題
- 第3章：学校制度の原則と課題
- 第4章：国家と義務教育費
- 第5章：教育思想ー教育学・学説、理論をふくむーをどのように考えるか
- 第6章：教育学研究と国家の問題ー国家と教育目的についてー
- 第7章：日本教育学会教育政策特別委員会の活動

《第2部：戦後教育の史的考察》

- 第1章：戦後日本教育分析の成果とその研究
- 第2章：戦後教育費問題分析の視角について
- 第3章：戦後教育財政政策の性格
- 第4章：へき地教育振興法の検討
- 第5章：占領教育政策と教育再建
- 第6章：教育基本法体制の成立
- 第7章：日本教育における支配体制の矛盾
- 第8章：戦後日本教育政策の基本構造
- 第9章：教育内容における自由と統制
- 第10章：占領軍の教科書検閲と検定制
- 第11章：臨教審の歴史的性格
- 第12章：CIE教育課の教育基本法への対応
- 第13章：占領と教育改革ー神話教育との関連においてー
- 第14章：教育改革ー戦後民主教育の幕開けー
- 第15章：占領と戦後改革
- 第16章：高等教育の多様性と改革

《第3部：近代日本における教育観》

- 第1章：「子ども観」の歴史
- 第2章：日本人の勉強観
- 第3章：福沢諭吉を生んだ「逸話」の秘密ーなぜ多くの歴史的人物を輩出したかー
- 第4章：明治から平成ー四つの時代を生きる教師の目ー

《第4部：書評》

- 1：海後宗臣編『臨時教育会議の研究』
- 2：平原春好著『日本教育行政研究序説』
- 3：大江志乃夫著『国民教育と軍隊』
- 4：春山作樹『日本教育史論』
- 5：寺嶋昌男・戦後下教育研究会編『戦力増強と教育ー皇国兵「養成」の理念と実践』
- 6：土持ゲーリー法一著『米国対日教育使節団の研究』

第7巻：「近代公教育の史的構造」

《第1部：『教育原理』》

《第2部》

- 第1章：アメリカ公教育の成立ー設立から南北戦争まで、初等教育を中心としてー
 - 第2章：ホーレス・マンとその教育思想ーその社会的性格ー
- 書評：川崎源著『ホーレス・マン研究』／久保義三著作目録